

1. 授業の概要・目的

2003年に文部科学省から出された「今後の特別支援教育の在り方について(最終報告)」を受け、2007年度より学校現場では特別支援教育が本格的に始まることとなった。障害児教育は今、大きな転換点にある。今後、教師には、様々な障害を抱えた生徒に対する教育を行う能力がより一層求められると考えられる。このことを踏まえ、本講義では、①様々な障害の概要を理解する、②障害を抱えている児童・生徒への教師の関わり方について理解を深める、③発達障害等、特別支援教育の概要について理解する、の3点を目標とする。

2. 授業内容

おおむね以下の内容について、講義形式で授業を進める予定である。

- 第1講 オリエンテーション～「障害」とは何か～
- 第2講 乳幼児検診・発達検査・就学相談
- 第3講 視覚障害
- 第4講 聴覚障害
- 第5講 肢体不自由
- 第6講 知的障害
- 第7講 自閉症
- 第8講 てんかん
- 第9講 ダウン症候群
- 第10講 特別支援教育のはじまり
- 第11講 発達障害①～LD(学習障害)～
- 第12講 発達障害②～ADHD(注意欠陥多動性障害)～
- 第13講 発達障害③～アスペルガー症候群～
- 第14講 障害を抱えた児童・生徒の進路と障害者自立支援法
- 第15講 教師に必要とされる障害を抱えた児童・生徒への対応のポイント

3. 履修の注意点

基本的に講義形式で行うが、現場での実践に役立つように、なるべく具体的な映像、事例を提示しつつ進める。また、簡単な実習を含めながら授業を行うので、受講者の積極的な取り組みを必要とする。

4. 教科書

指定しない。

5. 参考書

主な参考書は下記の通りである。

- 『<共に生きる場の>発達臨床』、鯨岡俊編著、ミネルヴァ書房、2002年10月
- 『障害児発達支援基礎用語事典 特別なニーズ教育に応えるためのキーワード110』、小宮・末岡・今塩屋・安藤編、川島書店
- 『視聴覚障害教育入門Q&A』、全国盲学校長会編著、ジアース教育新社
- 『聴覚障害児の言語指導～実践のための基礎知識』、我妻敏博著、田研出版
- 『障害を知る本③ てんかんのある子どもたち』、茨木俊彦監修・三宅捷太編・稲沢潤子文・オノビン+田村孝絵、大月書店
- 『特別支援教育のための精神・神経医学』、杉山登志郎・原仁共著、学研
- 『わかるLDシリーズ① LDとは何かー基本的な理解のためにー』、日本LD学会編、日本文化科学社
- 『LD, ADHDなどの子どもへの場面別サポートガイド 通常の学級の先生のための特別支援教育』、高橋あつ子編著、ほんの森出版
- 『アスペルガー症候群と高機能自閉症の理解とサポーターよりよいソーシャルスキルを身につけるためにー』、杉山登志郎編著、学研 等

6. 成績評価の方法

主として学期末のレポート。

7. その他

ボランティア活動に参加するなど、障害のある子どもたちに接する機会を積極的に持ち、授業の内容を体験的に補うことを強くすすめる。